

小川自治会防犯パトロール隊（東京都）

活動地域と団体の概要

最初にグラフを見ていただきます。私ども小川自治会内部の過去9年間の侵入窃盗の発生件数です。2004年に自治会で把握しただけでも、17件の侵入窃盗が発生しました。その前年が10件ぐらいなので、大幅に増えました。同じ年の週刊誌に「犯罪が多い地域特集」という記事が掲載され、私ども小川自治会が堂々とランクインしました。



ということで、住民の方が非常に不安がりました。自治会は防犯対策を検討し、半年間の準備期間を経て2005年4月にパトロール隊を発足しました。約1,200世帯の会員のうちの3割にあたる約350の方が参加してパトロール隊を発足させた結果、犯罪防止に多大の効果がありました。

ところが、せっかく大幅に減ってきた犯罪が2009年に約3倍に増えました。これはご承知の

ように、リーマン不況によって全国的にも犯罪が増えた年でした。一方、自治会では、高齢化や病気などによってパトロール隊員が少しずつ減っているという現状がありました。そこで、パトロールを補強する手段を検討しまして、青パト隊を2009年11月に22人でスタートさせました。

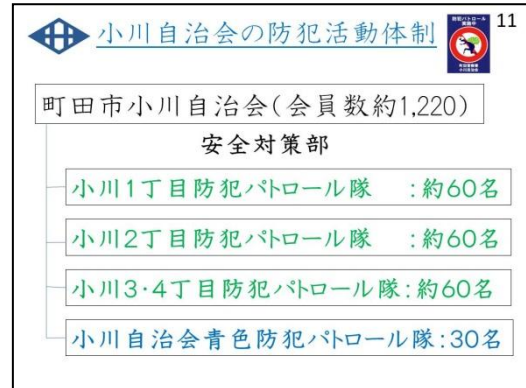
その結果、今度はおかげさまで、また大幅に減りました。私ども小川自治会という非常に限られた範囲の事例ではありますが、パトロールがいかに効果があるかということの実証になると思います。

私どもの町田市は、三方を川崎市、横浜市、相模原市に囲まれています。これは犯罪的には、都県境に位置して警察の管轄が違うので犯罪者が逃げやすい、犯罪が発生しやすいという条件を満たします。小川自治会は町田市の中でも南地区に位置し、神奈川県に近い、神奈川県に完全に入り込んだ場所です。また国道246号線、国道16号線、あるいは東名高速道路という幹線道路が近くを走っています。朝夕のラッシュ時には、町内をバイパスとして使う車が非常に多く、交通安全上の問題もあります。

小川1丁目から4丁目に分かれているうち、4丁目の4分3ぐらいが小川自治会です。それ以外にも4つの自治会があります。会員数は約1,200人、推定加入率が70パーセントですから、未加入を含めると1,700世帯ぐらい。人口にすると4千数百人というちょっ

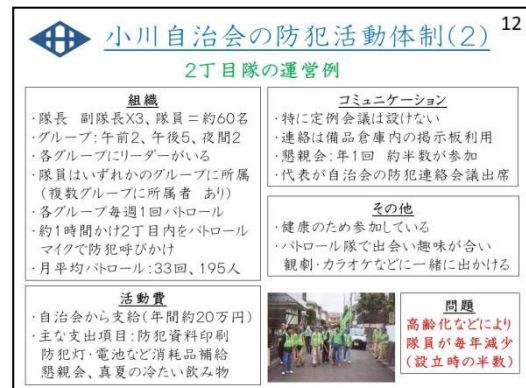
とした町並みの規模の自治会です。典型的な造成住宅街でして、高齢化が急速に進んでおります。

比較的大きな規模なので、自治会は専門部制を取っております。総務部とか、環境部とか、防災対策部等々がありまして、防犯については安全対策部が担当しています。実働部隊としましては、三つのパトロール隊がありまして、現在約180人。最初に350人でスタートしたと申しましたから半減しています。それ以外に青パト隊30人いますが、この3分の2は歩くパトロールと兼任ですから、実質170プラス17が現在活動しております。



活動の概要

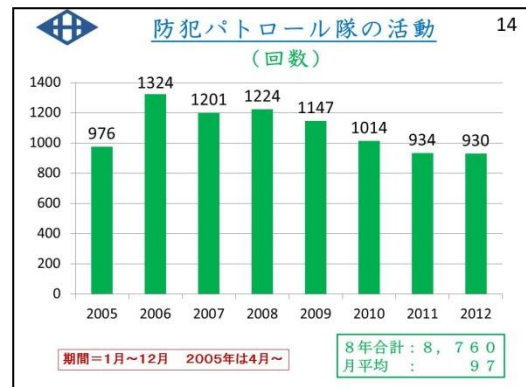
具体的な活動は、3つの隊それぞれに独立していますが、2丁目隊の例でお話します。60人の隊員がグループに分かれます。現在はグループが午前2、午後5、夜間2の9グループありまして、隊員はそれぞれのグループに所属します。中には、2～3掛け持ちして所属している方もいらっしゃいます。各グループは原則として毎週1回、約1時間をかけて2丁目をマイクで防犯を呼びかけながらパトロールします。月平均30数回、200人前後の延べ人数です。



特に定例会議等は設けていませんが、懇親会だけは必ずやります。年1回集まりまして懇親会で盛り上がります。

活動費は自治会から年間約20万円を拠出しています。主な支出項目としまして、懇親会ですね。それから、真夏には倒れると困りますので、昼間の冷たい飲み物などを補給しています。20年来糖尿病で困っていた人が、健康のために週に2回、3回パトロールしたら、非常に元気になって血糖値も平常に下がったという方がいます。趣味が合ってカラオケや観劇などにも一緒に行くグループもあります。このように健康やコミュニケーションにも役立っています。

今の例は2丁目会でした。パトロール回数を全体で見ますと、最も多かったのが2006年の1,300回以上。次第に減ってきて去



年は930回でした。参加延べ人数も2006年の約8,200人をピークに現在は約4,200人と半分まで減ってきています。

青パトは独立して活動しています。2009年にスタートしました。2人以上1組で、約1時間かけまして、10キロ町内を小学校の下校時間と夜間、パトロールしています。当初は自家用車を使用するという話もありましたが、自治会に若干の内部留保があったため思い切って専用車を買いました。回転灯の色が違う、サイレンがないという2点を除いて完全にパトカー仕様です。中古車に塗装し、様々な設備を追加しました。ジャケットなどもすべて含めて約130万円で用意しました。特定番号指定制度を利用して「110番」というナンバーを付けています。

小学校の登校見回りをたくさんやっている他に、小学校の安全対策委員のお母さんたちに青パトに乗っていただきまして、下校時に一緒にパトロールするという活動もしております。冒頭、青パトは「歩くパトロールの補完」と申しましたが、回数を重ね合わせてみますと、このように完全に歩くパトロールの目減りした分を青パトが補っています。今年に入り、4月にパトロールが累計1万回達成しました。同じ4月に、歩くパトロールで延べ人数が5万人を達成しました。3月には青パトが走行キロ1万キロを達成しました。

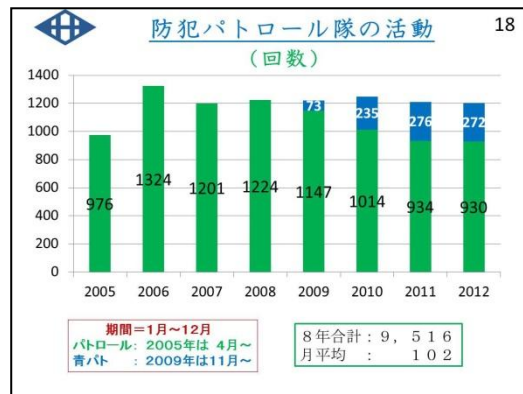
パトロール以外にも様々な活動をしています。まず、防犯のぼり旗を10軒に1軒ほど立てています。丁目によって出す日を変えて、日にちを決めて出しております。また、防犯ステッカーを全家庭に配りました。自治会員から公募して、圧倒的人気で採用されたデザインです。このステッカーが全家庭の門の所に並んでいるのは結構壮観です。広報啓蒙活動、町内美化なども徹底してやりまして、違反広告物や放置車両などはほとんどなくなりました。

青色防犯パトロール隊の活動 17

回数	856回	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員：30名 ・軽乗用車 ・パトカー仕様 ・No. は110番
延人数	2,055人	
走行距離	約9,500Km	




期間：2009年11月～2012年12月 38か月

- ・2人以上1組で約1時間約10Km夕方又は夜間パトロール
- ・歳末特別警戒：12月27日、28日 8回パトロール
- ・小川小登校見守り=537回、
- ・小川小安対委員同乗=106人
- ・子供神輿先導、防災訓練、広報など自治会活動へ参加
- ・町田市・町田警察署の防犯イベント参加

小川自治会の防犯活動—その他 20


- ・防犯のぼり旗：約120本 ⇨
- ・防犯ステッカー—全家庭へ ⇨
- ・小川小学校と連携：
 - 隊員による登校見守り(537回)
 - 安対委員の青パト同乗(延106名)
- ・啓発・広報活動：
 - 警察署・市役所などから講師を招き毎年防犯講習会開催
 - 「自治会だより」、自治会HPへ毎月防犯情報記事掲載
 - 掲示板防犯コーナー
- ・町内美化による防犯：
 - 昼間のパトロール時にゴミを拾って歩く
 - 隊員が市の違反広告物除却員に登録、除却
 - 放置車両・自転車のクリーンアップ
- ・資源回収：古紙・古布・空き缶の回収、収益を防犯活動に

活動の効果と今後の課題

小川自治会の防犯活動 21

防犯功勞表彰受賞履歴



平成20年 町田市長
 平成21年 町田警察署長・町田防犯協会会長
 平成22年 警視庁・東京都防犯協会連合会長
 平成23年 町田警察署長・町田防犯協会会長
 同 全国防犯協会連合会長
 平成24年 警視總監

小川自治会の防犯活動 22

現状の問題 → **今後の展開**

☆減犯・防犯→犯罪被害ゼロ 犯罪者が近寄らない街づくり	☆町内美化の徹底 きれいな街には犯罪者は 近寄らない
☆自治会員の高齢化 パトロール隊員の減少	☆パトロール隊→(補完)青パト隊 →(移行)青パト隊(増強) ☆のぼり旗追加、防犯カメラなど 人に頼らない防犯 (コスト増、セキュリティ)
☆お子様の安全確保 近隣地域で子供への犯罪増 交通安全	☆防犯→安全対策へ 他組織との連携強化



小川自治会の防犯活動 24

現状の問題 → **今後の展開**

☆本格的な防災体制の確立
防災(減災)と防犯の両立
(限られた人財でカバー可か) ?



おかげさまでここ5年ほど、いろいろな表彰をいただいております。平成23年は全国防犯協会連合会からの表彰、去年は警視總監賞をいただいています。

問題がいくつかありますが、やはり人の減少にどう対応するか。それから、お子さんの安全確保。加えて、犯罪をゼロにするためにはどうしたらいいかということです。いろいろ検討しております。子供の安全については地域との連携が必要です。行政や学校、家庭とともに、私ども自治会としては、特に犯罪、交通安全、それから、交通環境の整備に力を入れています。

それからもう一つ。東日本大震災以来、防災体制の構築にも本格的に取り組んでおりますが、限られた人財です。自治会の役員をやり、防犯も防災もということで同じ人がいくつもやっています。これをどうしていけばいいかは残念ながら、答えがまだありません。やらなければならないとは考えていますが、今後ますます高齢化が進んだときに、果たしていつまでもできるのかというのは、大きなクエスチョンマークです。ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

●質問 高齢化が進み、参加者が減ってくるというのは多くの団体の共通の悩みです。青パトの導入がパトロールの補完になったというお話でしたが、詳しくお聞かせ願えますか？

○回答 最初はそこまで考えていませんでした。しかし、青パトを走らせてみると結果的に歩くパトロールの回数を補っていた。我々もあのグラフを見たときは驚きました。青パトでしたら、免許を持っている人であれば協力しやすいのではないかと思います。協力者を増やすきっかけにもなるかもしれません。